

適用年度	対象学年	開講学期	科目区分	単位数	
2026年度	1年	前期・後期	必修専門	2	
科目名		担当者名			
サロンクリエイション		大宮麻理 前田利夫 安立かなえ 竹内麻衣子			
授業科目の学習教育目標					
評価方法	目的				
作品提出による講師評価	即戦力となる技術と感性を磨く				
授業方法	達成目標				
講義・デモンストレーション ・演習	選ばれる美容師になるための技術と感性の習得				
授業の内容					
開講時期	項目			参考資料	備品
4月	①感性を磨く・サロン講師 ②技術の習得・サロン講師	①サロン講師	②サロン講師		
		・CLENN	・GRIFICA		
5月		・in chelsea	・wit		
		・sisu	・arte hair		
6月		・snuw	・YENN		
		・totohair			
7月		・JURK			
8月					
9月	フォト作品提出				
10月	③技術の習得・サロン講師 プリーチマスター	③サロン講師			
		・BLANCO			
11月		・CLEAR			
		・BUDDY			
12月		・ICI			
		・LAPENSEE			
1月		・AXIS			
2月					
3月	ウィッグ作品制作				
他科目との関係性					
トレンドライフ・美容実習					

適用年度	対象学年	開講学期	科目区分	単位数	
2026年度	1年	前期・後期	必修一般	2	
科目名		担当者名			
トレンドライフ		大宮麻理 前田利夫 安立かなえ 竹内麻衣子			
授業科目の学習教育目標					
評価方法	目的				
期末試験結果	セルフブランディングを高める				
授業方法	達成目標				
講義・デモンストレーション ・演習	選ばれる美容師になるための個性や発信力を身につける				
授業の内容					
開講時期	項目				備品
4月	SNS	デッサン	マナー・教養		
5月			カメラ		
6月					
7月					
8月					
9月				福祉	
10月					パーソナルカラー
11月					
12月				ファッション	
1月					
2月					
3月					期末試験（レポート提出）
他科目との関係性					
サロンクリエイション					

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
2026	1	前期・後期	必修	3
科目名			担当者名	
コミュニケーション			大宮 麻理 前田 利夫 安立 かなえ 竹内 麻衣子	
授業科目の学習教育目標				
評価方法		目的		
提出物		意思の疎通を図り、お互いの考えを理解する		
授業方法		達成目標		
演習		普段の生活の中での意識の向上		
授業の概要				
コマ数	項目			参考資料
1	オリエンテーション			4/6(月)
2	〃			↓
3	〃			
4	〃			
5	〃			
6	〃			
7	体育祭について			
8	素養試験			4/13(月)
9	体育祭について			〃
10	自己発見検査			4/15(水)
11	体育祭について			〃
12	表彰			5/8(金)
13	作文			〃
14	表彰			6/12(金)
15	表彰			7/10(金)
16	面談			7/13(月)週
17	〃			↓
18	〃			
19	〃			
20	〃			
21	〃			
22	大掃除			7/23(木)
23	終業式			↓
24	HR			
25	表彰			9/11(金)
26	ヘアフェス説明			9/14(月)
27				
28				
他科目との関係性				

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
2026	1	前期・後期	必修	3
科目名			担当者名	
コミュニケーション			大宮 麻理 安立 かなえ	前田 利夫 竹内 麻衣子
授業科目の学習教育目標				
評価方法		目的		
提出物		意思の疎通を図り、お互いの考えを理解する		
授業方法		達成目標		
演習		普段の生活の中での意識の向上		
授業の内要				
コマ数	項目			参考資料
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表彰</li> <li>・ハロウィン学校祭について</li> <li>・終業式 等</li> </ul>			
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				
他科目との関係性				

適用年度	対象学年	開講学期	科目区分	単位数	
2026年度	1年	前期・後期	必修科目	15	
科目名		担当者名			
美容実習		大宮 麻理 前田 利夫 安立 かなえ 竹内 麻衣子			
授業科目の学習教育目標					
評価方法	目的				
期末試験	美容師として必要な技術の基礎を徹底して学ぶ 衛生面に関する技術・知識を身に付ける				
授業方法	達成目標				
講義・デモンストレーション・反復練習	基礎技術習得				
授業の内容					
開講時期	項目	教科書		参考資料	備品
		美容理論1	美容実習		
4月	ブロッキング・ウェットイング ワインディング アレンジ・コテ巻き カット				
5月					
6月					
7月					
9月	ヘアフェス準備				
他科目との関係性					
美容技術理論					

適用年度	対象学年	開講学期	科目区分	単位数	
2026年度	1年	前期・後期	必修科目	15	
科目名		担当者名			
美容実習		大宮 麻理 前田 利夫 安立 かなえ 竹内 麻衣子			
授業科目の学習教育目標					
評価方法	目的				
期末試験	美容師として必要な技術の基礎を徹底して学ぶ 衛生面に関する技術・知識を身に付ける				
授業方法	達成目標				
講義・デモンストレーション・反復練習	基礎技術習得				
授業の内容					
開講時期	項目	教科書		参考資料	備品
		美容理論1	美容実習		
10月	ワインディング				
11月					
12月	ウェーブウィッグ作成 ↓ フィンガーウェーブ				
1月	↓ オールウェーブ				
2月	↓ カラー相モデル				
3月	↓				
他科目との関係性					
美容技術理論					

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
2026年度	1年	前期・後期	必修専門	4単位
科目名		担当者名		
トータルビューティー基礎（メイク）		竹内麻衣子 / 松本菜巳		
授業科目の学習教育目標				
評価方法		目的		
期末試験（実技・学科）		メイクの技術の習得		
授業方法		達成目標		
講義（相モデルでの実習）		ナチュラルメイクがその人に合わせてできる		
授業の内要				
コマ数	項目	理論【理論Ⅱ】	実技【実習Ⅱ】	
	概論 ～ 用具類 ～ 消毒 ・ スキンケア	【概論】 77～79	【クア】	60～63
1	検品・名前書き	【用具】 86～90		
2	スキンケア	【スキンケア】 91～93		
	パーソナルカラー ・ ベースメイク	【カラー】 80～85	【クア】	60～63
3	スキンケア ～ ベースメイク	【ベース】 93～98	【ベース】	64～67
4				
	アイブロウ ・ アイメイク	【アイブロウ】 98～99	【クア】	60～63
5	スキンケア ～ アイブロウ	【アイメイク】 99～102	【ベース】	64～67
6			【アイ】	68～72
	リップ ～ 肌質別メイク	【リップ】 102～103	【リップ】	73～
7	スキンケア ～ アイメイク（アイシャドー）	【肌質】 106～107	【クア】	60～63
8	ナチュラルメイク		【ベース】	64～67
	ブライダルメイク ・ まつ毛エクステンション	【ブライダル】 104～105	【クア】	60～63
9	ナチュラルメイク	【まつエク】 108～115	【ベース】	64～67
10	〃			
	ナチュラルメイク（似合わせ）		【クア】	60～63
11	〃		【ベース】	64～67
12	〃			
13	半顔メイク（クール・キュート）			
14	〃			
15	〃			
16	キャッツメイク			
17	〃			
18	〃			
19	模擬試験			
20	〃			
21	〃			
22	実技試験			
23	〃			
24	〃			
他科目との関係性				
美容技術理論Ⅱ・美容実習Ⅱ				

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
2026年度	1年	前期・後期	必修専門	4単位
科目名		担当者名		
トータルビューティ基礎（着付）		下田智子		
授業科目の学習教育目標				
評価方法		目的		
期末試験（実技・学科）90% 平常点10%		着物の基礎を学び技術と知識を身に付ける		
授業方法		達成目標		
講義（相モデルでの実習）		浴衣を自分で着る 相モデルで着せられるようになる 検定100%合格		
授業の概要				
コマ数	項目	参考資料	持ち物	
	着付け知識 着物の各部の名称(理論①)			
1	着物知識・着物小物・たたみ方（理論②）	美容技術理論2		
2	着物の畳み方・準備の仕方・ひもの片付け方（理論③）		伊達締め（学）	
	準備の仕方・置き方・男子1種（理論④）		紐（学）	
3	浴衣展示（自分で着る）		BF 7B 30107-23+12-08	
4	浴衣を自分で着る		BF 7B 30107-23+12-08	
	帯の締め方・補整の仕方			
5	相モデル浴衣展示 帯1種	美容技術理論2		
6	相モデル浴衣展示			
	相モデルで浴衣を着る			
7	〃			
8	〃			
	〃			
9	相モデルで浴衣を着る			
10	〃			
	相モデルで浴衣を着る			
11	〃			
12	〃			
13	〃			
14	〃		下駄	
15	〃			
16	婚礼着付け（理論⑤）	美容技術理論2		
17	プリント練習問題と解説（教室）（理論⑥）			
18	浴衣帯のみ練習（相モデル）			
19	学科テスト・			
20	実技テスト（模擬）			
21	〃			
22	期末テスト（SBS検定対策）実技			
23	〃			
24	〃			
他科目との関係性				
美容技術理論・美容文化論・美容実習（専科）				

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
2026年度	1年	前期・後期	必修専門	4単位
科目名		担当者名		
トータルビューティー基礎（ネイル）		前田利夫 / 安立かなえ		
授業科目の学習教育目標				
評価方法		目的		
期末試験（実技）		I N A検定取得。正しく安全、衛生的な技術を身につける。 オリジナルのアート作品を作る。		
授業方法		達成目標		
講義（相モデルでの実習）		I N Aネイル検定内容のケア・カラーができる		
授業の概要				
コマ数	項目	参考資料	持ち物	
	ネイル技術概論			
1	検品・消毒・道具の説明、ウッドスティック削り方	美容実習2		
2	〃			
	ネイル技術概論			
3	チップのファイリング・相モデルケア	美容実習2		
4	〃			
	ネイル技術概論			
5	相モデルケア	美容実習2		
6	〃			
	ネイル技術概論			
7	相モデルでカラー	美容実習2		
8	〃			
	ネイル技術概論			
9	相モデルでケア・マッサージ	美容実習2		
10	〃			
	ネイル技術概論			
11	【検定】説明・ケア 【その他】相モデルでカラー	美容実習2		
12	〃			
13	相モデルでケア・カラー			
14	アート（ライン、ドット、花）	美容実習2		
15	〃			
16	相モデルでケア・カラー			
17	アート（クリスマス）	美容実習2		
18	〃			
19	期末対策（相モデルでケア、カラー）			
20	〃	美容実習2		
21	〃			
22	期末試験（実技）			
23	〃	美容実習2		
24	〃			
他科目との関係性				
保健・衛生管理・美容実習（専科）				



適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
2026	1	前期・後期	必修	3
科目名		担当者名		
美容技術理論		下田智子 / 杉本将志 / 松本菜巳 / 神戸克仁 / 竹内麻衣子		
授業科目の学習教育目標				
評価方法		目的		
期末試験80%・小テスト10%・平常点10%		美容の理論を理解して適切な技術を行う		
授業方法		達成目標		
講義・デモンストレーション		国家試験合格への基礎知識習得		
授業の内要				
コマ数	項目	理論1	理論2	参考資料
1	序章	P5~14		
2	1章 美容用具	P15~21		
3	〃	P22~25		
4	〃	P26~30		
5	〃	P31~35		
6	2章 シャンプーイング	P37~41		実習1P6~25
7	〃	P42~43		
8	〃	P44~51		
9	〃	P52~57		
10	〃	P58~60		
11	〃	P61~64		
12	〃	P65		
13	6章 ブロードライ	P192~195		
14	〃	P196~198		
15	序章・1章・2章・12章 小テスト対策	P5~35	P141~190	
16	〃			
17	小テスト①			
18	小テスト 解説+補足			小テスト返却
19	4章 ヘアカットイング	P89~95		
20	〃	P96~100		
21	〃	P101~107		
22	〃	P108~115		
23	〃	P116~120		
24	〃	P121~128		
25	11章 日本髪と調和		P122~126	
26	日本髪の結髪技術		P127~129	
27	4章・6章(ブロー)・10章・11章 小テスト対策	P37~128	P75~129	
28	〃			
29	小テスト②			
30	小テスト 解説+補足			小テスト返却
31	序章・1章・2章・12章 復習			
32	4章・6章(ブロー)・10章・11章 復習			
33	〃			
34	12章 着付技術		P141~190	
35	〃			
36	〃			
37	〃			
38	〃			
39	〃			
40	10章 メイクアップ		P75~115	
41	〃			
42	〃			
43	〃			
44	〃			
45	〃			
他科目との関係性				
香粧品化学、美容文化論				

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
2026	1	前期・後期	必修	3
科目名		担当者名		
美容技術理論		杉本将志 / 前田利夫 / 神戸克仁 / 松本菜巳 / 竹内麻衣子 / 安立 かなえ		
授業科目の学習教育目標				
評価方法		目的		
期末試験80%・小テスト10%・平常点10%		美容の理論を理解して適切な技術を行う		
授業方法		達成目標		
講義・デモンストレーション		国家試験合格への基礎知識習得		
授業の概要				
コマ数	項目	教科書	ワーク	参考資料
46	前期試験 解説+補足			
47	7章 ヘアカラーリング	P221~224		
48	〃	P225~226		
49	〃	P227~229		
50	〃	P230~235		
51	〃	P235~238		
52	〃	P239~241		
53	〃	P241~244		
54	6章 ヘアセッティング	P151~158		
55	〃	P159~161		
56	〃	P162~167		
57	〃	P168~176		
58	〃	P177~185		
59	〃	P186~191		
60	〃	P199~220		
61	6章・7章 小テスト対策 ※ブローなし	P151~244		
62	小テスト③			
63	小テスト 解説+補足			
64	3章 美容とデザイン 錯覚現象～	P69~72		
65	デザインの要素	P73~79		
66	デザインの原理	P80~88		
67	5章 パーマネントウェーブ	P129~136		
68	〃	P137~138		
69	〃	P138~141		
70	〃	P141~145		
71	〃	P146~148		
72	〃	P149~150		
73	9章 小テスト対策		P37~73	
74	5章 小テスト対策		P129~150	
75	3・8章 小テスト対策		P5~36	
76	小テスト④			
77	小テスト 解説+補足			
78	6・7章 復習	P151~244		
79	〃			
80	期末試験対策			
81	〃			
82	9章 ネイル技術			
83	〃			
84	〃			
85	〃			
86	〃			
87	〃			
88	8章 エステティック			
89	〃			
90	〃			
他科目との関係性				
化粧品化学、美容文化論				

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
2026	1	前期・後期	必修	1
科目名		担当者名		
文化論		越田隆夫 / 藤居志津子		
授業科目の学習教育目標				
評価方法		目的		
期末試験80%・小テスト10%・平常点10%		各時代の、髪型、化粧、服装を学び今、未来のファッションについて考える		
授業方法				
講義		美意識の向上を目指す		
授業の内要				
コマ数	項目	教科書	ワーク	参考資料
1	総論	p 6～8		
2	理容業・美容業の登場	p 10～12		
3	江戸時代の理容業・美容業	p13～16		
4	近代の理容業・美容業	p 17～21		
5	理容・美容界の近代化と第2次世界大戦	p 22～25		
6	復習			
7	小テスト	p6～25		
8	現代の理容業・美容業	p26～29		
9	縄文・弥生・古墳時代	p34～39		
10	〃			
11	古代（飛鳥・奈良・平安時代） 髪型、化粧	p40～44		
12	復習			
13	小テスト	p26～44		
14	古代（飛鳥・奈良・平安時代） 服装	p44～48		
15	中世（平安時代末期・鎌倉室町・戦国時代）	p49～55		
16	〃			
17	近世（戦国時代末期・安土桃山時代）	p56～58		
18	近世（江戸時代）	p59～73		
19	〃			
20	復習			
21	小テスト	p44～73		
22	近代（明治時代）	p74～80		
23	〃			
24	近代（大正時代）	p81～84		
25	近代（昭和20年まで）	p85～88		
26	〃			
27	復習			
28	小テスト	p 74～88		
29	現代（1945年～1950年代）	p89～94		
30	〃			
他科目との関係性				
美容技術理論				

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
2026	1	前期・後期	必修	1
科目名		担当者名		
化粧品化学		谷口雅信 / 前田 利夫		
授業科目の学習教育目標				
評価方法		目的		
期末試験80%・小テスト10%・平常点10%		美容に必要な化粧品化学の基礎の理解		
授業方法		達成目標		
講義		美容師として必要な化粧品、化学について学習し、次年度の国家試験に備える。		
授業の概要				
コマ数	項目	教科書	ワーク	参考資料
1	化粧品総論	P 8～1 8	該当部分	自作プリント
2	化粧品を使用する際に気を付けるべきこと	P19～4 2	該当部分	自作プリント
3	化粧品の成り立ち、水と親水性溶媒	P 4 3～5 0	該当部分	自作プリント
4	〃		該当部分	自作プリント
5	油性原料	P 5 1～5 8	該当部分	自作プリント
6	〃 小テスト前振り返り		該当部分	自作プリント
7	小テスト (1)			
8	界面活性剤①	P 5 9～6 2	該当部分	自作プリント
9	界面活性剤②	P 6 3～6 6	該当部分	自作プリント
10	界面活性剤③		該当部分	自作プリント
11	界面活性剤復習		該当部分	自作プリント
12	高分子化合物①	P 6 7～6 9	該当部分	自作プリント
13	高分子化合物②小テスト前振り返り		該当部分	自作プリント
14	小テスト (2)			
15	期末試験対策			
16	色材①	P 7 0～7 3	該当部分	自作プリント
17	色材②、香料	P 7 4～8 0	該当部分	自作プリント
18	色材、香料 復習		該当部分	自作プリント
19	製品を安定させる配合成分、その他の機能性成分	P81～9 2	該当部分	自作プリント
20	〃小テスト前振り返り		該当部分	自作プリント
21	小テスト (3)			
22	雑貨原料、スキンケア製品①役割、クレンジング用	P 9 6～1 0 5	該当部分	自作プリント
23	〃		該当部分	自作プリント
24	スキンケア製品②コンディショニング用	P106～11 5	該当部分	自作プリント
25	〃		該当部分	自作プリント
26	スキンケア製品③トリートメント用	P116～1 2 8	該当部分	自作プリント
27	〃小テスト前振り返り		該当部分	自作プリント
28	予備			
29	小テスト (3)			
30	期末試験対策			
他科目との関係性				

適用年度	対象学年	開校学期	科目区分	単位数
2026	1	前期・後期	必修	1.5
科目名		担当者名【実務経験年数】		
保健		大宮 麻理 / 安立かなえ		
授業科目の学習教育目標				
評価方法		目的		
期末試験80%・小テスト10%・平常点10%		生理解剖学について学び 国家試験の出題傾向を修得する		
授業方法		達成目標		
講義		国家試験合格への基礎知識習得		
授業の概要				
コマ数	項目	教科書	ワーク	参考資料
1	1章 頭部、顔部、頸部の体表解剖学	P10~17		
2	〃	〃		
3	〃	〃		
4	2章 骨格器系	P18~24		
5	〃	〃		
6	〃	〃		
7	〃	〃		
8	小テスト対策	P10~24		
9	小テスト①(1・2章)	〃		
10	3章 筋系	P26~31		
11	〃	〃		
12	〃	〃		
13	4章 神経系	P32~37		
14	〃	〃		
15	〃	〃		
16	〃	〃		
17	小テスト対策	P26~37		
18	小テスト②(3・4章)	〃		
19	期末試験対策(1~4章)	P10~37		
20	小テスト解説・期末試験対策	〃		
21	期末試験対策	〃		
22	期末試験振り返り	〃		
23	5章 感覚器系	P38~43		
24	〃	〃		
25	〃	〃		
26	6章 血液と免疫	P44~49		
27	〃	〃		
28	〃	〃		
29	7章 循環器系	P50~55		
30	〃	〃		
31	〃	〃		
32	小テスト対策	P38~55		
33	小テスト①(5・6・7章)	〃		
34	8章 呼吸器系	P56~59		
35	〃	〃		
36	〃	〃		
37	9章 消化器系	P60~67		
38	〃	〃		
39	〃	〃		
40	小テスト対策	P56~67		
41	小テスト②(8・9章)	〃		
42	期末試験対策(5~8章)	P38~67		
43	小テスト解説・期末試験対策	〃		
44	期末試験対策	〃		
45	期末試験振り返り	〃		
他科目との関係性				